※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	Standard　数学Ｂ　（東京書籍）						
副教材等	STAGE　数学Ⅱ＋B						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

● 必ず自分で解こう
　数学の勉強では，答えを眺めてわかったつもりになっていても，実際に問題を解くと解けないことがよくある。数学の勉強をするときには，必ずノートにきちんと計算したり図を描いたりしながら解いていくようにしてほしい。そうすることで，自分自身が本当に理解できているかどうかを確認することができ，自分の力を伸ばしていくことにつながっていく。

● わからない問題でもあきらめない
　わからない問題にぶつかったとき，簡単にあきらめてはいけない。解けない問題を解こうとする過程が大切であり，それが本当の勉強であり力を伸ばす源となる。難しい問題が解けたときは本当にうれしいものである。どうしてもわからない問題があったら，遠慮せずに質問に来ること。絶対にそのままにしておかないことが重要である。疑問点はその日のうちに解決していくことを心がける。

２　学習の到達目標

・数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
・数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培う。
・数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 数列	第１節　数列 1.　数列 2.　等差数列 3.　等差数列の和 4.　等比数列 5.　等比数列の和	a:数列，等差数列，等比数列の定義を理解し様々な条件から一般項や和について求めることができる。 b:等差・等比数列の和などの条件から初項や公差・公比を求めることができる。式の特徴を活かして適切に変形したり，式の意味を読み取ったり表現したりできる。 c:数列の一般項の式の形や係数の意味に興味をもち，2項間の関係などについて考察する。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	レポート 小テスト
		第2節　いろいろな数列 6.　数列の和と記号Σ 7.　いろいろな数列の和	a:　和の記号Σの意味を理解し，Σを用いて表された和を，項を書き並べて表すことができる。また，項を書き並べて表された和を，Σを用いて表すことができる。階差数列の定義を理解し，一般項を求めることに利用できることを理解する。 b:等差×等比の和や，群数列など，やや複雑な問題について，既習の事項と関連付けながら考察できる。 c:　自然数の和の公式を用いて自然数の 2 乗の和の公式が導けることに興味をもち，自然数の 3 乗の和の公式を導こうとする。また，さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	レポート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

2学期		第3節　漸化式と数学的帰納法 8.　漸化式 9.　数学的帰納法	a:漸化式の意味を理解し，数列の具体的な項や一般項を求めることができる。数学的帰納法を用いた証明の仕組みについて理解している。 b:やや複雑な漸化式について置き換えなどを用いて既知の漸化式で表現・考察することができる。数学的帰納法を様々な証明問題に活用できる。 c:漸化式から一般項を求める際に，様々な方法を比較検討しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	レポート 小テスト
	第2章　統計的な推測	第1節　標本調査 1.　母集団と標本 第2節　確率分布 2.　確率分布 3.　確率変数の平均と分散の性質 4.　確率変数の和と積 5.　二項分布 第3節　正規分布 6.　正規分布	a:確率変数の意味を理解し，様々な確率変数について，期待値や分散など，基本的な値を求めることができる。 b:具体的な事象を二項分布や正規分布を活用して表現・考察することができる。 c:　期待値や分散に関する性質に興味を持ち，導こうとする。現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち，様々なデータについて考察しようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	レポート 小テスト
3学期		第4節　統計的な推測 7.　母平均の推定 8.　仮説検定	a:母集団と標本についての関係を理解し，期待値や標準偏差，信頼区間など基本的な値を求めることができる。 b:　信頼度 95%の信頼区間の求め方やその意味をもとに，信頼度 99%の信頼区間を求めることができる。また，その意味について信頼区間の幅をもとに説明することができる。片側検定と両側検定の違いを理解し，どちらの検定をするか正しく判断できる。 c:　推定や検定によって様々な判断ができることに興味を持ち，現実の問題の解決に役立てようとする。	定期考査 提出ノート 小テスト	定期考査 提出ノート 小テスト	レポート 小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度